

## 大臣からのキー・メッセージ「社会のための交通」

2011年5月26日にライプチヒの国際交通フォーラムの大臣会議に出席した大臣は、

### 次の諸点を重視する：

- 経済成長を実現し、個人の幸福を支え、労働・財・サービスの市場へのアクセスを支えるという、旅客・貨物交通の重要な役割
- 環境、健康及び自然への悪影響を減少させつつ、高度な交通に対する社会的需要に応えるという複雑な課題
- 世界的な都市化の進行、人口動態の変化、特に多くの国における高齢化から生じる、交通システムが直面する新たな課題
- 経済及び交通量の需要増大に対応する、持続可能かつ効率的な物流及び貨物交通システムの必要性
- 今後しばらく交通インフラの公的投資に影響を与えると見られる、世界的金融危機後に各国で生じている政府支出削減圧力

### 次の点に留意する：

- 先般の日本における地震と津波の悲劇によって生じた交通の途絶によって、交通が人々と地域の生活にとっていかに不可欠であるかが改めて明らかになり、またひとたび災害が発生した際は、災害に強いインフラ、オペレーションの迅速な復旧、輸送サービスの被害、復旧状況及び有用性に関する情報の共有が重要であることが確認されたこと

### 次の諸点に注目する：

- 交通利用を通じて直接的に利益と影響を受ける、市民及びコミュニティに焦点を当てた交通政策の重要性
- 交通サービスとインフラの提供において、政府及び民間部門のそれぞれが果

たすべき基本的役割と相互補完関係

- OECD等の機関においてGDPを超えた社会的幸福を計測する枠組を構築する試みが進められていること、および交通がこれらの枠組に適切に反映されるべきであること

次の課題に焦点をあてつつ、交通による便益を増し、社会・環境・経済面の持続可能性を増大させるよう努めることに合意する：

- **公平**

- 収入、移動可能性及び居住地のために社会参画の機会が制約される階層のニーズに配慮する
- 公平の問題が、投資決定の際に適切に考慮されることを保証する
- 2006年の大臣声明「全ての人の交通アクセスの改善」を想起する

- **安全**

- 世界の道路交通事故の死傷者数が看過できぬ高水準にあること
- 全ての交通モードにおいてベスト・プラクティスを促進し、「道路交通安全のための国連十カ年行動計画」を支援する

- **セキュリティ**

- テロ及び交通犯罪との闘いに向けた世界的な協力を支援する
- 旅行者の尊厳を尊重し、公共資源を最大限に活用する、リスクベース手法による警戒監視を強化する

- **都市化**

- 増加する都市人口の旅客・貨物交通需要を充足できるような最適な交通モードを活用する都市交通を育成するために、地方政府とも積極的に協力する
- 2006年の大臣声明「持続可能な都市旅客政策の実行」を想起する

- **経済成長**

- 経済成長及び雇用を支える方向で交通政策を進める
- 資源を、交通システムの維持・管理、更新及び改良に優先的に振り向ける

- 経済的中心部、都心及び重要な回廊地帯へのアクセスを促進する投資を重視する
- 交通モード間の連携を強化して、信頼性・効率性に優れ環境に優しい貨物交通システムを促進する
- 2009年の大臣声明「交通とグローバル化：経済危機下における挑戦と機会」の提言を実現する
  
- **雇用**
  - 雇用者、労働組合及び教育機関とも連携しつつ、将来の交通部門が必要とする技能に対応した労働者教育訓練を実施する。その際、労働環境、熟練労働者にとっての魅力、サービスの質の関連に留意する
  
- **効率性**
  - サービス提供及びインフラ整備における民間部門の生産性向上力を最大限に活用する
  - 公的資金の最適活用のための評価手法の利用
  - 交通コストを反映した価格設定の促進
  - ベストプラクティスを共有し施策の重複を回避ための、外国政府および地方政府との協力
  - 交通部門が、利用者と納税者に最大価値を提供するよう観測・監視する
  
- **資金調達**
  - 交通の建設、導入、運営及び維持を支える新たな資金調達源、ビジネスモデル及びベストプラクティスを特定することで、政策決定者が、最も効果的な資金活用及び交通利用者及び納税者のために可能な限り価値の高い資源戦略を行うための、選択肢を提供する
  
- **技術と技術革新**
  - 交通アクセス、環境性能、安全、効率性、連携性及びその効果を改善する新技術（高度道路交通システム、新車両技術のような、ハイブリッド、新世代電池、燃料電池等の技術）の促進と貨物交通のためのインフラの効果的な利用推進

- 技術革新を促進する政策的枠組みの採用
- 2010 年大臣声明「交通と技術革新：潜在力の発揮」の提言を実現する
  
- **環境と健康**
- 温室効果ガスや大気汚染を削減し、渋滞を緩和し、個人の健康を増進する、交通モード（公共交通、自転車や徒歩、貨物鉄道や貨物水運等）の利用促進
- 自動車交通の排ガス低減と燃費改善
- 2008 年大臣声明「交通とエネルギー：気候変動問題への挑戦」の提言を実現する。2004 年大臣声明「自転車利用を促進する交通政策」を想起する

2011 年の国際交通フォーラムに参加した大臣は、各国の交通政策において、引き続き上記の課題に対処するとともに、すべての関係者に対し、交通が個人及び地域の生活の質を高める活動に参加するよう求めることとした。